

# 熱帯研究の 活かしかた・拡げかた

場所：オーテピア4階（高知市追手筋2丁目1-1）  
オンライン配信（zoom）あり

日本では昨今、特に若者の内向き志向が高まっています。熱帯で研究に携わろうという若者も減ってきているようです。未知の領域が広い熱帯での研究は、たとえば生態の基礎的研究でも興味は十分に喚起されるでしょう。一方で、純粹に科学を深めていく方向とは別に、基礎的研究を生かして社会課題の解決に適用していく研究、あるいは熱帯を超えてグローバルに広がっていく研究があります。そのような研究は、今日の社会に疑問を持ち、自らのあり方に悩む若者をひきつけるのではないのでしょうか。地球環境問題を含むグローバル・イシューが課題となっている今日、どう熱帯研究を活かし、拡げていけるのでしょうか。より魅力的な熱帯研究を目指して本シンポジウムを企画します。

## プログラム

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:00-13:10 | あいさつ  |
| 13:10-13:50 | 北山兼弘（京都大学）<br>「生態研究を森林管理制度に活かす」   |
| 13:50-14:30 | 杉山俊士（JICA）<br>「開発途上国の沿岸・水産開発における情報ニーズと研究の役割：<br>開発の現場で求められる熱帯研究の貢献」                   |
| 14:30-15:10 | 安藤和雄（京都大学/名古屋大学）<br>「フィールドワーク型の熱帯研究がひらく農業・農村の新たな可能性：<br>バングラデシュ、ブータンと日本での実践型地域研究から学ぶ」 |
| 15:20-16:00 | 櫻井克年（高知大学）<br>「日本の片隅で世界を想う」   |
| 16:00-16:40 | 総合討論  |



参加申し込みはGoogle formからお願いします

<https://forms.gle/TaX7ZZhhkXdeSuYq7>